

直売所を拠点とした地域農産物を活用した加工品開発と地域農業の活性化

認定日：平成26年2月28日

- ◆ 平成19年に3JA(蝶屋、つるぎ郷、手取)が合併して誕生。
- ◆ 県内最大の種子生産地域(県内での生産割合(H24年) 水稲34%、大麦60%、大豆85%)。
- ◆ 平成25年度の作付面積は、水稲1,163ha、大豆77ha、ブロッコリー9ha、ナス0.6ha、ニンジン0.4ha。

【総合化事業の目標】

- ◆ 米や市場出荷の規格に合わず廃棄していた農産物を活用した加工品を製造・開発して販売することにより、組合員の所得向上と地域農業の維持・発展を図る。



【総合化事業の具体的な内容】

- ◆ 米粉や規格外大豆、野菜を利用して加工品の製造・開発を行い、新たな直売所で販売する。
- ◆ 管内の生産農家が直売所へ出荷ができるようにトラック便を活用して、広域な管内を網羅する物流体制を確立する。
- ◆ 地域農業の魅力発見につながるよう「食育ソムリエ」を養成し、郷土料理のレシピ作りや料理講習会など多彩な食育活動を展開する。

